



SAPPORO 神奈川大学 札幌宮陵会

2023 No.24

第24号

発行
神奈川大学札幌宮陵会
企画広報委員会

令和5年4月20日(木)

発行責任者
会長 佐藤 隆良

事務局
札幌市北区北29条西6丁目2番3号
TEL・FAX 011-709-3225

ホームページ
www.011jp.com/kanagawa-u/



札幌宮陵会 会報
第二十四号に寄せて

神奈川大学札幌宮陵会
会長 佐藤 隆良
(経済 昭和二十七年)

札幌宮陵会の皆様如何お過ごしでしようか、大変ご無沙汰しております。まる三年にわたるコロナ禍、感染対策の為の多様にわたる規制に縛られ窮屈な日常生活をお過ごしのことと心よりお見舞い申し上げる次第で御座います。我慢も限界に達しているのではないでしょか。その様なコロナ状況の中、本年上旬より全国的に感染者が減少傾向の兆候が少しづつ見え始め、いろいろな規制も緩和されつつある昨今で御座います。このまま終息に向かう事を心より願うものであります。

コロナ禍この三年間札幌宮陵会の行事は総会をはじめとし幹事会、懇親会、ゴルフ会等全て中止せざるをえない状況で御座いました。特に令和二年には札幌宮陵会創立八十年を迎えることとなりました。このまま終息に向かう事を心より願うものであります。

さて、大学は本年四月より化学生命学部と情報学部が設置され、十一学部で運営されております。一八〇〇〇人の学生が学んでおります。大学の増えの御発展を願うものであります。

結びになりますが、今年も札幌宮陵会いろいろなイベントを企画しております。コロナの終息を心より期待しながら、皆様の御参加をお待ちしております。

なかつた事は誠に残念としか言い様が御座いません。先の事にはなりますが、令和十三年には札幌宮陵会九十周年を迎えます。皆様の手で九十周年の祝賀行事が出来る事を願っております。

さて、昨年七月宮陵会の本部より学

生支援事業——Quoカードの配布——についての実施協力のお願い等の案内を頂きました。コロナ禍における現役学生を同窓会が、経済的に支援する事業で御座います。原資は各地域組織の留保金の一部、学生一人当たりのQuoカード配布額は、二〇〇〇円以上となつております。現在、神奈川大学札幌出身の在学生は、八十四名です。学生一人当たりのQuoカードの配布額二〇〇〇円とし、壹拾六萬八千円が札幌宮陵会の負担額となります。札幌宮陵会幹事の幹部の方々数人と連絡を密に取り意見を交換し、一人当たりQuoカード二〇〇〇円配布で決定いたしました。

金額では御座いますが、学生諸君にとって少しでも足しなれば幸甚に思う次第でございます。

さて、大学は本年四月より化学生命学部と情報学部が設置され、十一学部で運営されております。一八〇〇〇人の学生が学んでおります。大学の増えの御発展を願うものであります。

結びになりますが、今年も札幌宮陵会いろいろなイベントを企画しております。コロナの終息を心より期待しながら、皆様の御参加をお待ちしております。

継続は力なり

宇山 文直
(経済 昭和五十二年)

私が札幌宮陵会に参加したのが確か平成九年からと思します。当時札幌支部の名称で、支部長が故大島先輩、幹事長が故鈴木先輩でした。活動が長い間停滞してからの再出発の時期で、一度止まつた車を動かすのは並大抵の事ではなかつたかと思います。諸先輩たちに感謝すると共に、私も微力ながらお手伝い出来た事を嬉しく思います。コロナの影響で三年間、総会並びに各イベントも中止になりましたが、今年度は久しぶりに総会が行われます。以前の停滞期と状況は異なりますが、初心に帰つて札幌宮陵会を皆の力で盛り上げて行ければと思ひます。

「木を見て森を見ず」ではなく、まず木を見る事から始めなければと思ひます。それだけここ数年の活動自肅の影響は大きな事だと思つています。

私も古希を目の前に迎える年齢になりましたが、一昨年、長く続けていたオーダースーツの店を移転し、心機一転リニューアルオープンを致しました。この年齢で、しかもこのコロナ禍ではと思ひましたが、新たな気持ちで毎日頑張っています。親の代から数えると

七十四年、私の代になつてから四十年経つのですが、続ける事の難しさを痛感しながら、その大きさを感じております。

「継続は力なり」目まぐるしく変わる今の時代にあつて、なぜか懐かしい言葉になつてしまつた気がしますが、歴史ある札幌宮陵会と共に、私も残りの人生を歩んで行こうと思います。

あの頃の経験と今への繋がり

北村 收
(経済 昭和五十二年)

コロナ禍での自粛生活からはや二年が経過しましたが、札幌宮陵会の皆様いかがお過ごしでしょうか。

私は昭和五十二年卒業と同時に北海道にUターン就職し、トヨタ部品共販

(現トヨタモビリティ・パーツ)を六十

歳定年後五年間の嘱託社員を経て退職。

現在健康を考えシルバー人材センターに登録、時に働きながら過ごしております。大学時代は東横線反町駅から坂

を上った栗田谷中学近くの三帖一間の下宿住まい、当初は広い所に引っ越

すとかと思いつつも、総勢十六人の大下宿の人間関係が良かつたため四年間住んでいました。高校迄と違い、クラ

スは有るもの全員顔を合わせるのは

必修科目の英語と体育のみ。これでは

変喜ばれました。

友達が作れないと、当時出来たばかりのサークル「自然愛好会」に入り新しい友人が出来現在も何人かと親交が続いております。特に六十歳から年二回、札幌での麻雀大会とその後の懇親会は継続した楽しみですが、この三年間は我慢の自粛中です。

また当時サークルの先輩と夕方からダイエー横浜駅西口店の食品売場で商品出庫と値札貼りのアルバイトをしました。そこで米国人と思わしき買い物客から、「ショートケーキの売り場を教えて」と英語で質問され、何も返答

出来ずに一緒に売り場に同行し難を逃れましたが、この時せつからく国際都市ヨコハマに来たのに話せないとは何だ、と自分に叱咤。この経験が次年に英会話を履修するきっかけになりました。

先生は米国人の女性講師で質問への正しい回答に投げキッスをしたり、ミニスカートで脚を組んだりと文化の違いにとても驚きました。誰かが「先生、アメリカ人もお米を食べるんですか」と尋ね、「食べます。だって米国でしょ」と、さすがにウイットで返すの上

手いなあと感心。下宿に戻つても週二回の教育テレビの英会話を視聴、初歩

的な英会話は何とか話せる様にしました。この経験は会社勤務でも生き、米国トヨタからの研修生と話しが通じ大

下生) ゼミのことなどお話ししたいと

思います。私は昭和五十三年に法学部

を卒業後、北海道に戻つて信用金庫に

就職しました。当時は大変な就職難で、

偶然同郷であることがわかり、「地元

見の工業地域を歩いて出身地での差別

を実感した後は桜木町でコンパ飲み会。

また事前に何日も本を読み尽くし、ゼミ誌にやつと小論文を掲載出来た時は

達成感を覚えたものです。かつて山田先生が宮陵会会长をされ札幌支部総会に来賓でお越しの際にはお話し了出来、

先生に私の記憶はありませんでしたが、札幌支部がある事で再会出来たのだと感謝の気持で一杯になります。

最近は対面授業再開に向かい一つあります。学生時代の付き合いは生涯の財産。現在の学生達がかつての様に登校し、語り合える日が来ることを願います。

百周年を迎ますが、四十五年もの勤続は自分でも驚きです。次にゼミと先生の思い出です。ゼミでは先生と大学院生の鋭い質問に冷や汗をかきました

が、今思えば貴重な経験です。また、憧れの軽井沢でのゼミ合宿、児玉先生

のご自宅にゼミ生全員で押しかけて鍋パーティーを開き、先生の愛唱歌だった琵琶湖就航歌を大合唱する(かなり

レトロ)など楽しい時間を過ごしました。卒業から十数年後に関東で研修が

おり、大学で先生と再会することができました。当時は金融法務の仕事で裁判所通りの日々、先生と学生時代とは違つたお話しができたことを嬉しく思

いました。児玉先生は大学の図書館長を務められた後、平成九年に逝去され

就職活動と児玉ゼミの思い出

杉尾 純一
(法律 昭和五十三年)

札幌宮陵会の皆様、しばらくご無沙汰していますが、いかがお過ごしでした

おかげで、大学時代の記憶が少しづつ甦つてきました。就職のこと、私が履

修した児玉敏教授(民事法、妻栄門

ました。寄稿の依頼を受けて間もなく、偶然にも「神奈川法学」に児玉先生の告別式に山火正則名誉教授（元学長で当時法学部長、平成三十年ご逝去）が読まれた弔辞が掲載されているを見つけました。児玉先生のお人柄を偲ぶエピソードが綴られていて懐かしさと感激をおぼえました。『児玉先生に誘われて城ヶ島に釣りに出かけたところ、ボートが故障して流され始め、潮の流れからして、このままでは明日の朝は大島付近だという状況の中で、児玉先生は平然としかし情熱的に、例の「あな、あんな」を連発されながら、法学部の今後の問題や司法試験受験生対策など大学のことばかり話しておられ、先生の大学と学生に対する強い思いを感じた最初の出来事でした。』というお話です。最後に、コロナ禍が収束して宮陵会の諸活動にも活気が戻りますよう願っております。

**身辺雑記
～思い出すことなど～**

石田 照男
(経済 昭和五十四年)

大学を卒業して四十四年が過ぎました。大学卒業後北海道に戻り、地元江別市で就職をしました。六十歳で定年退職後、再雇用制度で六十五歳まで働

き、その後一年契約を二回繰り返し現

在も働いています。職場は、恵庭市島松です。はじめ地元江別市でしたが十二年前広域合併があり、異動で恵庭と渡り、業務内容も、合併当時の金融部門から営業部門（農家の経済的側面のお手伝い）に移り今年で五年目になります。

大学時代は、放送研究会に入りました。放送研究会では、台詞課・アナウンス課・技術課・資料企画課の四つの課に分かれ、各課が独自に又一緒に845教室で活動しておりました。845教室とは別に、屋上に続く階段の踊り場（？この辺りになると記憶が曖昧です）を改造した部屋（録音室）があり、休講時などはよくこの部屋で時間を過ごしていました。

一年生から三年生までは、三ツ沢南町に部屋を借りて住んでいました（四年生になつて菊名に引っ越しました）。三ツ沢から学校まで徒歩で三十分程度です。途中、放送研究会のK先輩（北海道札幌市出身の先輩であります）の住んでいるアパート「ゆたか荘」があり、学校帰りに毎日のように寄つて深夜まで話し込んだり、飲んだり、時には雑魚寝して朝を迎えるようになりました。

先輩には大変迷惑だったでしょうが、貴重な時間を過ごさせていただきまし

放送研究会には、一年数カ月在籍しておりますが、自分の勝手な都合で退会しました。

大学卒業後、北海道へ戻り大学とは疎遠になつてしましました。そんな折、今から三十年以上前になるのでしょうか、お正月二日に何気なくテレビのスイッチを入れると大学駄伝を中心として突然「神奈川大学健闘しております」というアナウンサーの声とともに選手が映りました。一瞬何事かと目と耳を疑いましたが、選手の胸に間違いない「神奈川大学」とあり、久し振りに大学の名前に接し、改めて懐かしさを感じました。

その後、放送研究会のK先輩が私を探し当て連絡をいただき、K先輩の誘いもあって宮陵会の集まりに参加させて頂いています。

二 空あおく涯てなくあおく船は航く 遠きわだつみひとすじの真理の 潮路相寄りて 今日も究めん世界は呼ぶ 世界は呼ぶひかりはここにわれら われら

神奈川大学



神奈川大学校歌

作詞…神保光太郎
作曲…高田 三郎

一 岩をうち とどろに返す
　　真白なる 波のゆくえよ
　　あけそめし 日本の未来

　　湧きおくるあかつきの歌
　　ひかりはここに

　　世界は呼ぶ 世界は呼ぶ
　　われら われら

三 丘に立ち 祖国を想う
　　混沌の 雲のゆきかい
　　日に烈しほのの決意
　　あたらしき 歴史の朝よ
　　世界は呼ぶ 世界は呼ぶ
　　ひかりはここに
　　われら われら

神奈川大学

